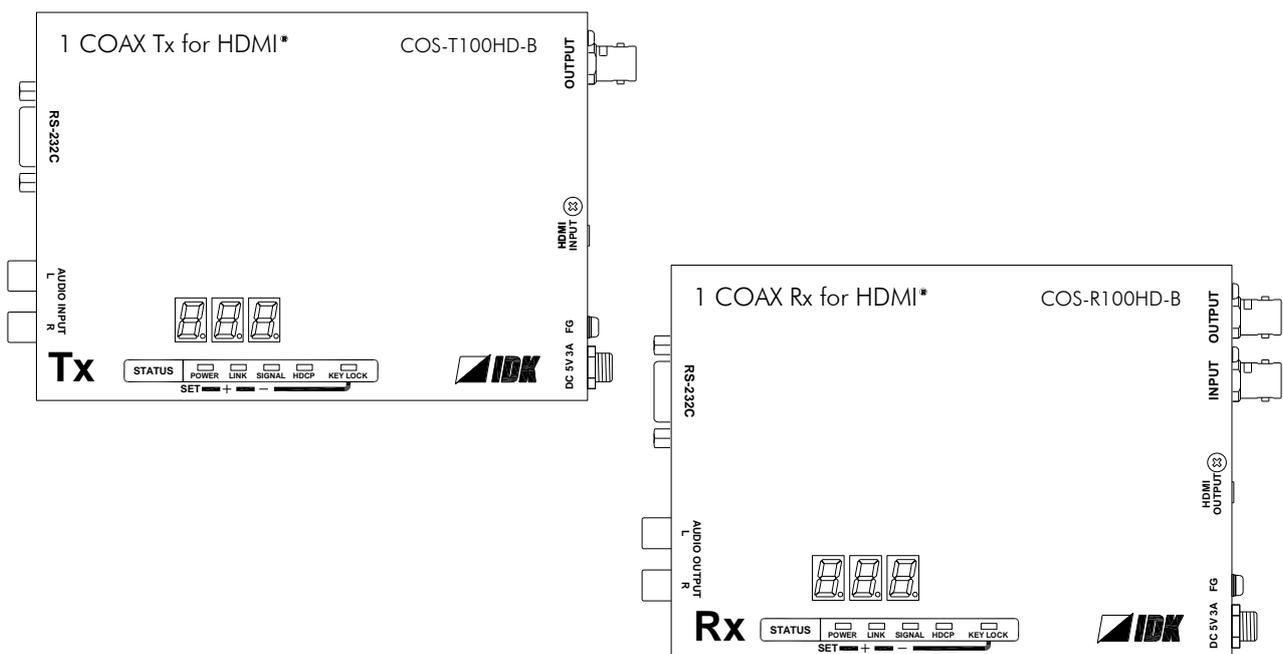


## HDMI 単芯同軸ケーブル延長器

# COS-100HD-B

<コマンドガイド>

取扱説明書 Ver.1.0.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

## 商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。  
なお、本文中において、<sup>®</sup>マークや<sup>™</sup>マークを省略している場合があります。

# この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図や通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.idk.co.jp/>

## 取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

### ■ ユーザーズガイド

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。
- ・ 設置し、他の機器と接続する。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

### ■ コマンドガイド (本書)

[目的]

- ・ 通信コマンドを使って機器の設定をする。

## 目次

1	本書の概要.....	5
2	コマンドの概要.....	6
3	設定モード.....	7
3.1	設定手順.....	7
3.2	コマンドの一覧.....	9
3.3	コマンドの詳細.....	10
3.3.1	送信器、受信器共通.....	10
3.3.2	送信器.....	12
3.3.3	受信器.....	14
4	伝送モード.....	15
4.1	設定手順.....	15
4.2	コマンドの一覧.....	17
4.3	コマンドの詳細.....	17
4.3.1	送信器、受信器共通.....	17
4.4	デージーチェーン接続.....	18
4.5	注意事項.....	20
5	RS-232C コネクタ仕様.....	21
6	RS-232C 通信仕様.....	22

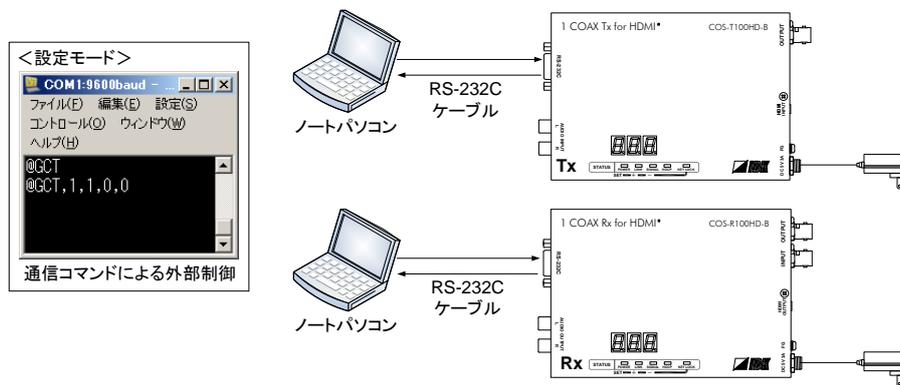
# 1 本書の概要

本書は RS-232C 通信を使って、送信器または受信器を外部から制御するためのコマンド送受信方法と、送信器と受信器間のデータ通信方法について説明します。

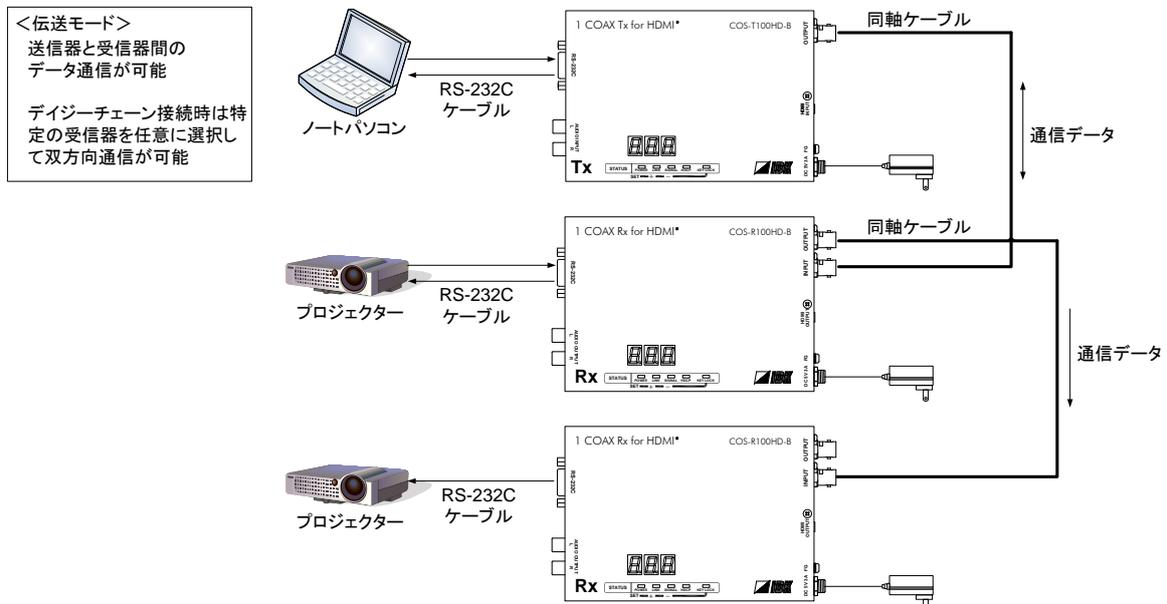
本機は、外部制御や送信器と受信器間でのデータ通信をするとき、用途に応じて設定を変更する必要があります。送信器または受信器を外部から制御する場合は“設定モード”に、送信器と受信器間でのデータ通信をする場合は“伝送モード”にする必要があります。次項で各モードの設定手順について説明します。設定手順は送信器、受信器同様となります。

RS-232C ケーブルは、接続する機器に適合したものをお使いください。

【参照：5 RS-232C コネクタ仕様 (P.21)】



[図 1.1] 設定モード



[図 1.2] 伝送モード

## 2 コマンドの概要

コマンドは各コマンドを識別する@ (16進表記の40) の後に3文字の半角英字 (大文字、小文字) と、それに続くパラメータ (半角数字) からなります (コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータを必要としないものがあります)。

コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例 : @S\*S,1 [↵]

「,」は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字で、カンマ (16進表記の2C) を表します。  
[↵]は、デリミタ (CR+LFで16進表記の0D+0A) を表します。

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合はエラーコマンドを返します。

例 : @S\*S,10 [↵]  
@ERR,1 [↵]

コマンドを指定せずにデリミタ[↵]のみを送信すると、ヘルプコマンドとしてコマンドの一覧を送り返します。

例 : [↵]

----- HELP (1/2) -----

(Com Port Setting Command)

@SCT / @GCT : Set/Get RS-232C Interface

(OTHERS Command)

@GIV : Get ID & Version

@GIS : Get Input Status

-----

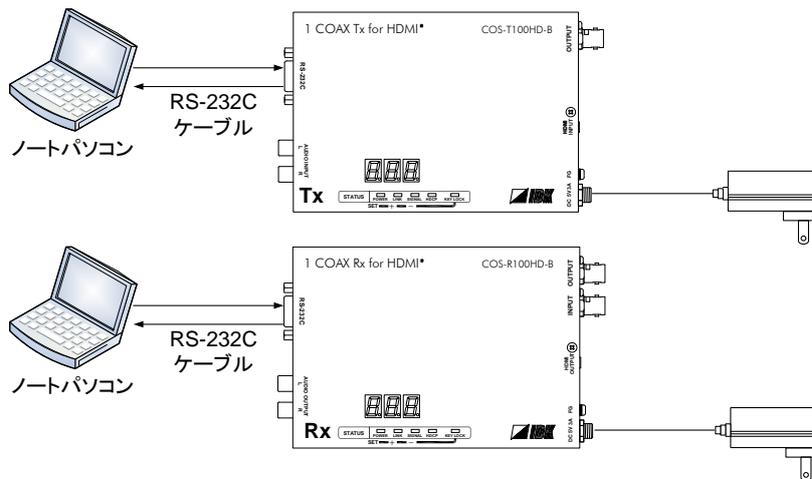
### 3 設定モード

RS-232C 通信を使って、送信器または受信器を外部から制御する場合は、“設定モード”にする必要があります。“設定モード”にすると、コマンドを使用して、送信器または受信器の設定や、入出力の状態を取得することができます。

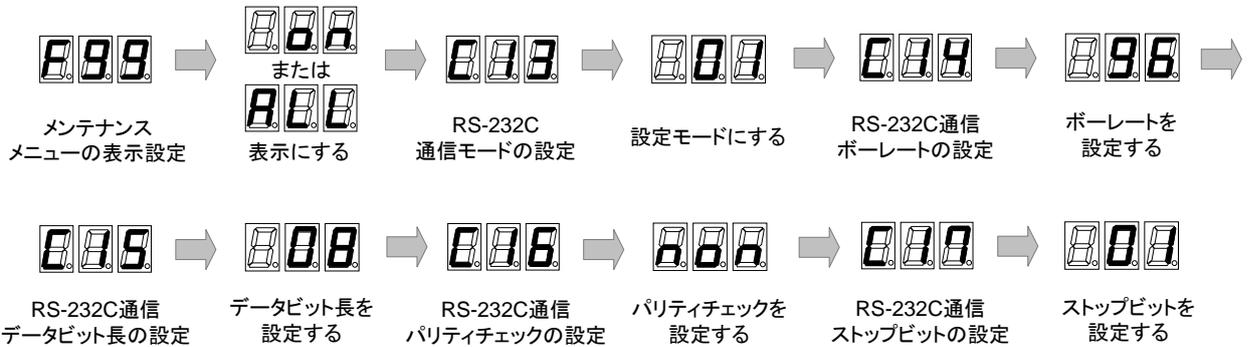
本章では“設定モード”の設定手順、外部制御をするときに使用するコマンドについて説明します。

#### 3.1 設定手順

パソコンなどの制御機器から、送信器または受信器を制御する際の設定手順を示します。



#### ● 設定モードとRS-232C通信の設定



[図 3.1] 設定モード

【参考】図に示す以外の機器が接続されていても、その機器に対する設定に影響を与えません。

## ■ 設定手順 (設定モード)

- 1 パソコンなどの制御機器と、送信器または受信器を設置し、RS-232C ケーブルで接続する。

---

- 2 各機器の電源を入れる。

---

- 3 送信器、受信器の RS-232C 通信モードを“設定モード”にする。※<sup>1</sup>  
“[ F99 ] メンテナンス / 状態表示メニューの表示設定”の設定を“on (表示)”または“ALL (常時表示)”にし、メンテナンスメニューの操作ができるようにする。  
“[ C13 ] RS-232C 通信モード設定”の設定を“01 (設定モード)”にする。

---

- 4 送信器、受信器の RS-232C 通信設定を行う。※<sup>2</sup>  
“[ C14 ] RS-232C 通信 ボーレートの設定”を制御機器に合わせて設定する。  
“[ C15 ] RS-232C 通信 データビット長の設定”を制御機器に合わせて設定する。  
“[ C16 ] RS-232C 通信 パリティチェックの設定”を制御機器に合わせて設定する。  
“[ C17 ] RS-232C 通信 ストップビットの設定”を制御機器に合わせて設定する。

---

- 5 コマンドを使って設定をする。  
【参照 : 3.3 コマンドの詳細 (P.10)】

---

- 6 必要に応じて、“[ F99 ] メンテナンス / 状態表示メニューの表示設定”の設定を“oFF (非表示)”にする。

---

※1 パソコンなどの制御機器と、送信器または受信器の RS-232C 通信設定が正しく設定されている場合、コマンド (@S\*S) からでも RS-232C 通信モードの設定が可能です。

【参照 : @S\*S (P.11)】

※2 パソコンなどの制御機器と、送信器または受信器の RS-232C 通信設定が正しく設定されている場合、コマンド (@SCT) からでも RS-232C 通信設定が可能です。本機の RS-232C 通信設定を変更した場合は、制御機器の設定も併せて変更してください。

【参照 : @SCT / @GCT (P.11)】

## 3.2 コマンドの一覧

---

### 送信器、受信器共通

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	10
@GIV	バージョン情報	10
@SCT / @GCT	RS-232C 通信	11
@S*S	RS-232C 通信モード	11

### 送信器

コマンド	機能	詳細ページ
@GIS	入力信号状態表示	12
@S** / @G**	RS-232C 通信 送信先 ID	13
@S*R / @G*R	RS-232C 通信 受信先 ID	13

### 受信器

コマンド	機能	詳細ページ
@GOS	シンク機器状態表示	14
@S*I / @G*I	RS-232C 通信 受信器 ID	14

### 3.3 コマンドの詳細

#### 3.3.1 送信器、受信器共通

<b>@ERR</b>	<b>エラーステータス</b>	
機能	取得	
書式	返り値のみ	
返り値	@ERR, error ☐	
パラメータ	error : エラーステータス 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります。 2 = 未定義のコマンド、またはコマンド書式に誤りがあります。	
実行例	GIV ☐ @ERR, 2 ☐	@GIV コマンドを送信します。 コマンド書式にエラーがあります。
備考	-	

<b>@GIV</b>	<b>バージョン情報</b>	
機能	取得	
書式	@GIV ☐	
返り値	@GIV, id, firm, hard ☐	
パラメータ	id : 製品型番 firm : ファームウェアバージョン hard : ハードウェアバージョン	
実行例	@GIV☐ @GIV, COS-T100HD-B, 1.00, 1.00 ☐	バージョン情報を取得。 ファームウェアバージョンは 1.00、ハードウェアバージョンは 1.00。
備考	-	

@SCT / @GCT	RS-232C 通信	
機能	取得	設定
書式	@GCT <input type="checkbox"/>	@SCT, bps, length, parity, stop <input type="checkbox"/>
返り値	@GCT, bps, length, parity, stop <input type="checkbox"/>	@SCT, bps, length, parity, stop <input type="checkbox"/>
パラメータ	bps : ボーレート 0 = 4800 bps,                      1 = 9600 bps ※初期値,    2 = 19200 bps, 3 = 38400 bps  length : データビット長 0 = 7 bit,                              1 = 8 bit ※初期値  parity : パリティチェック 0 = なし ※初期値,    1 = 奇数,                              2 = 偶数  stop : ストップビット 0 = 1 bit ※初期値,    1 = 2 bit	
実行例	@GCT <input type="checkbox"/> @GCT, 1, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/>	現在の RS-232C 通信設定状態を取得。 ボーレートは 9600 bps、データビット長は 8 bit、パリティチェックなし、ストップビットは 1 bit に設定されている。
	@SCT, 1, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/>  @SCT, 1, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/>	RS-232C 通信設定をボーレート 9600 bps、データビット長 8 bit、パリティチェックなし、ストップビット 1 bit に設定。 RS-232C 通信設定をボーレート 9600 bps、データビット長 8 bit、パリティチェックなし、ストップビット 1 bit に変更。
備考	RS-232C 通信設定が変更された場合、通信不可となる場合があります。使用する送信器または受信器に合わせて、環境の設定変更をしてください。 伝送モードと設定モード共通の設定となります。	

@S*S	RS-232C 通信モード	
機能	設定	
書式	@S*S, mode <input type="checkbox"/>	
返り値	@S*S, mode <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mode : RS-232C 通信モード設定 0 = 伝送モード ※初期値,    1 = 設定モード	
実行例	@S*S, 1 <input type="checkbox"/> @S*S, 1 <input type="checkbox"/>	RS-232C 設定モードに設定。 RS-232C 設定モードに変更。
	@S*S, 0 <input type="checkbox"/> @S*S, 0 <input type="checkbox"/>	RS-232C 伝送モードに設定。 RS-232C 伝送モードに変更。
備考		

### 3.3.2 送信器

@GIS	入力信号状態表示																																									
機能	取得																																									
書式	@GIS, mode [ ]																																									
返り値	@GIS, mode, status_1 (, status_2, status_3) [ ]																																									
パラメータ	<p>mode : 取得ステータス</p> <p>0 = 入力信号全ステータス</p> <p>1 = 入力モード / 入力色深度</p> <p>2 = 入力解像度 / 入力映像周波数</p> <p>3 = デジタル音声入力形式 / デジタル音声入力サンプリング周波数</p> <p>status_1 : 入力モード / 入力色深度</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>入力モード</th> <th>表示内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>d</td> <td>DVI モード、HDCP なし</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI モード、HDCP あり</td> </tr> <tr> <td>h</td> <td>HDMI モード、HDCP なし</td> </tr> <tr> <td>H</td> <td>HDMI モード、HDCP あり</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>入力信号なし</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>入力色深度</th> <th>表示内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>08</td> <td>24 bit / pixel (8 bit / component)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>30 bit / pixel (10 bit / component)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>36 bit / pixel (12 bit / component)</td> </tr> </tbody> </table> <p>status_2 : 入力解像度 / 入力映像周波数</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>表示例</th> <th>表示内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1920x1080p 59.94Hz</td> <td>1080p 59.94 Hz</td> </tr> <tr> <td>1600x1200p 60.00Hz</td> <td>UXGA 60 Hz</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>入力信号なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>status_3 : デジタル音声入力形式 / デジタル音声入力サンプリング周波数</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>表示例</th> <th>表示内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L-PCM 48kHz</td> <td>2 チャンネルリニア PCM 48 kHz</td> </tr> <tr> <td>L-PCM 48kHz M</td> <td>マルチチャンネルリニア PCM 48 kHz</td> </tr> <tr> <td>COMPRESSED AUDIO</td> <td>圧縮音声</td> </tr> <tr> <td>NO AUDIO</td> <td>音声入力なし (DVI モードの場合など)</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>入力信号なし</td> </tr> </tbody> </table>		入力モード	表示内容説明	d	DVI モード、HDCP なし	D	DVI モード、HDCP あり	h	HDMI モード、HDCP なし	H	HDMI モード、HDCP あり	N	入力信号なし	入力色深度	表示内容説明	08	24 bit / pixel (8 bit / component)	10	30 bit / pixel (10 bit / component)	12	36 bit / pixel (12 bit / component)	表示例	表示内容説明	1920x1080p 59.94Hz	1080p 59.94 Hz	1600x1200p 60.00Hz	UXGA 60 Hz	NO SIGNAL	入力信号なし	表示例	表示内容説明	L-PCM 48kHz	2 チャンネルリニア PCM 48 kHz	L-PCM 48kHz M	マルチチャンネルリニア PCM 48 kHz	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声	NO AUDIO	音声入力なし (DVI モードの場合など)	NO SIGNAL	入力信号なし
入力モード	表示内容説明																																									
d	DVI モード、HDCP なし																																									
D	DVI モード、HDCP あり																																									
h	HDMI モード、HDCP なし																																									
H	HDMI モード、HDCP あり																																									
N	入力信号なし																																									
入力色深度	表示内容説明																																									
08	24 bit / pixel (8 bit / component)																																									
10	30 bit / pixel (10 bit / component)																																									
12	36 bit / pixel (12 bit / component)																																									
表示例	表示内容説明																																									
1920x1080p 59.94Hz	1080p 59.94 Hz																																									
1600x1200p 60.00Hz	UXGA 60 Hz																																									
NO SIGNAL	入力信号なし																																									
表示例	表示内容説明																																									
L-PCM 48kHz	2 チャンネルリニア PCM 48 kHz																																									
L-PCM 48kHz M	マルチチャンネルリニア PCM 48 kHz																																									
COMPRESSED AUDIO	圧縮音声																																									
NO AUDIO	音声入力なし (DVI モードの場合など)																																									
NO SIGNAL	入力信号なし																																									
実行例	@GIS, 0 [ ] @GIS, 0, H08, 1920x1080p 59.94Hz, L-PCM 48kHz [ ]	<p>入力信号全ステータスを取得。</p> <p>入力ステータスは、HDMI モード、HDCP あり、色深度 24 bit / pixel (8 bit / component)、入力解像度は 1080p 59.94 Hz、デジタル音声入力形式は 2 チャンネルリニア PCM、デジタル音声入力サンプリング周波数は 48 kHz となっている。</p>																																								
備考	-																																									

@S** / @G**	RS-232C 通信 送信先 ID	
機能	取得	設定
書式	@G** Ⓜ	@S**, ID1 (, ID2, …ID15) Ⓜ
返り値	@G**, ID1 (, ID2, …ID15) Ⓜ	@S**, ID1 (, ID2, …ID15) Ⓜ
パラメータ	ID1 ~ ID15 : 送信先 ID 0 = すべての受信器へ RS-232C 通信可能 ※初期値 1 ~ 15 = ID が一致した受信器へ RS-232C 通信可能	
実行例	@G** Ⓜ @G**, 1, 2, 3 Ⓜ	現在の送信先 ID を取得。 送信先 ID が 1、2、3 に設定されている。
	@S**, 1, 2, 3 Ⓜ @S**, 1, 2, 3 Ⓜ	送信先 ID を 1、2、3 に設定。 送信先 ID を 1、2、3 に変更。
備考	送信先 ID が初期設定の場合、すべての受信器へデータを伝送できます。 送信先 ID には、複数の ID を設定できます。 特定の受信器に対してデータ伝送 (送信) する場合は、受信器 ID を 0 以外に設定し、送信先 ID をデータ伝送する受信器 ID に設定してください。 【参照 : RS-232C 通信 受信器 ID (P.14) 】	

@S*R / @G*R	RS-232C 通信 受信先 ID	
機能	取得	設定
書式	@G*R Ⓜ	@S*R, ID Ⓜ
返り値	@G*R, ID Ⓜ	@S*R, ID Ⓜ
パラメータ	ID : 受信先 ID 0 ~ 15 = ID が一致した受信器からのデータ伝送を受信可能 ※初期値は 0	
実行例	@G*R Ⓜ @G*R, 0 Ⓜ	現在の受信先 ID を取得。 受信先 ID が 0 に設定されている。
	@S*R, 1 Ⓜ @S*R, 1 Ⓜ	受信先 ID を 1 に設定。 受信先 ID を 1 に変更。
備考	受信先 ID が初期設定の場合、送信器に 1 番近い受信器からデータを受信できます。 受信先 ID には、1 つの ID のみ設定できます。 特定の受信器に対してデータ伝送 (受信) する場合は、受信器 ID を 0 以外に設定し、受信先 ID をデータ伝送する受信器 ID に合わせてください。 【参照 : RS-232C 通信 受信器 ID (P.14) 】	

### 3.3.3 受信器

@GOS	シンク機器状態表示																			
機能	取得																			
書式	@GOS, mode [ ]																			
返り値	@GOS, mode, status_1 (, status_2) [ ]																			
パラメータ	<p>mode : 取得ステータス                      0 = シンク機器状態全ステータス,    1 = シンク機器の HDCP 対応状態,                      2 = シンク機器との HDCP 認証状態</p> <p>status_1 : シンク機器の HDCP 対応状態</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示内容</th> <th>表示内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP SUPPORT</td> <td>HDCP 対応シンク機器が接続</td> </tr> <tr> <td>HDCP NOT SUPPORT</td> <td>HDCP 非対応シンク機器が接続</td> </tr> <tr> <td>UNCONNECTED</td> <td>シンク機器が未接続</td> </tr> </tbody> </table> <p>status_2 : シンク機器との HDCP 認証状態</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示内容</th> <th>表示内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP OFF</td> <td>HDCP付き信号が未入力、またはHDCP非対応のシンク機器が接続</td> </tr> <tr> <td>HDCP OK</td> <td>認証に成功</td> </tr> <tr> <td>HDCP ERROR</td> <td>認証に失敗</td> </tr> <tr> <td>HDCP CHECK NOW</td> <td>認証中</td> </tr> </tbody> </table>		表示内容	表示内容説明	HDCP SUPPORT	HDCP 対応シンク機器が接続	HDCP NOT SUPPORT	HDCP 非対応シンク機器が接続	UNCONNECTED	シンク機器が未接続	表示内容	表示内容説明	HDCP OFF	HDCP付き信号が未入力、またはHDCP非対応のシンク機器が接続	HDCP OK	認証に成功	HDCP ERROR	認証に失敗	HDCP CHECK NOW	認証中
表示内容	表示内容説明																			
HDCP SUPPORT	HDCP 対応シンク機器が接続																			
HDCP NOT SUPPORT	HDCP 非対応シンク機器が接続																			
UNCONNECTED	シンク機器が未接続																			
表示内容	表示内容説明																			
HDCP OFF	HDCP付き信号が未入力、またはHDCP非対応のシンク機器が接続																			
HDCP OK	認証に成功																			
HDCP ERROR	認証に失敗																			
HDCP CHECK NOW	認証中																			
実行例	@GOS, 0 [ ] @GOS, 0, HDCP SUPPORT, HDCP OK [ ]	シンク機器状態全ステータスを取得。 シンク機器状態全ステータスは、HDCP 対応シンク機器が接続、HDCP 認証に成功している。																		
備考	—																			

@S*I / @G*I	RS-232C 通信 受信器 ID	
機能	取得	設定
書式	@G*I [ ]	@S*I, ID [ ]
返り値	@G*I, ID [ ]	@S*I, ID [ ]
パラメータ	ID : 受信器 ID 0 ~ 15 = 受信器 ID    ※初期値は 0	
実行例	@G*I [ ]	現在の受信器 ID を取得。
	@G*I, 0 [ ]	受信器 ID が 0 に設定されている。
	@S*I, 0 [ ] @S*I, 0 [ ]	受信器 ID を 0 に設定。 受信器 ID を 0 に変更。
備考	<p>送信先 ID が初期設定の場合、すべての受信器が送信器からデータを受信できます。また、受信先 ID が初期設定の場合、送信器に 1 番近い受信器からのみ、送信器へデータの伝送ができます。</p> <p>特定の受信器に対してデータ伝送する場合は、受信器 ID を 0 以外に設定し、送信先 ID と受信先 ID をデータ伝送する受信器 ID に設定してください。</p> <p style="text-align: right;">【参照 : RS-232C 通信 送信先 ID (P.13)】                      【参照 : RS-232C 通信 受信先 ID (P.13)】</p>	

## 4 伝送モード

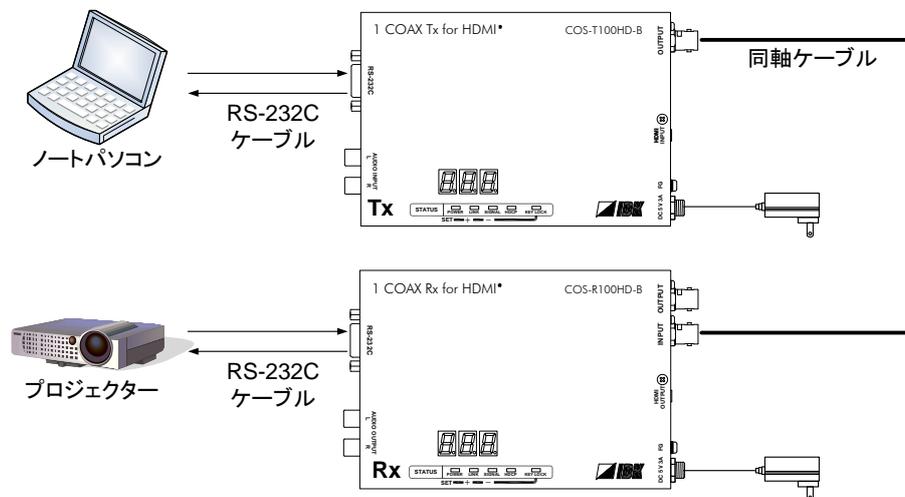
RS-232C 通信を使って、送信器と受信器間でデータを伝送する場合は、“伝送モード”に設定する必要があります。

デジチェーン接続した場合は、送信器から受信器への一括データ送信や、特定の受信器 1 台を選択した双方向通信ができます。

本章では伝送モードの設定手順、データ通信手順について説明します。

### 4.1 設定手順

送信器と受信器を“伝送モード”にして、データ通信を行う際の設定手順を示します。



#### ● 伝送モードの設定



[図 4.1] 伝送モード

【参考】図に示す以外の機器が接続されていても、その機器に対する設定に影響を与えません。

■ 設定手順 (伝送モード)

- 1 パソコンなどの制御機器と送信器、受信器とプロジェクターなどの外部機器を設置し、RS-232C ケーブルで接続する。

---

- 2 各機器の電源を入れる。

---

- 3 送信器、受信器を“設定モード”にして、RS-232C 通信設定をする。  
RS-232C 通信設定は、**3.1 設定手順 (P.7)** を参照してください。

---

- 4 送信器、受信器の RS-232C 通信モードを“伝送モード”にする。※  
“[ F99 ] メンテナンス / 状態表示メニューの表示設定”の設定を“on (表示)”または“ALL (常時表示)”にし、メンテナンスメニューの操作ができるようにする。  
“[ C13 ] RS-232C 通信モード設定”の設定を“00 (伝送モード)”にする。

---

- 5 必要に応じて、“[ F99 ] メンテナンス / 状態表示メニューの表示設定”の設定を“oFF (非表示)”にする。

※ パソコンなどの制御機器と、送信器または受信器の RS-232C 通信設定が正しく設定されている場合、コマンド (@S\*S) からでも RS-232C 通信モードの設定が可能です。

【参照 : @S\*S (P.11) 】

## 4.2 コマンドの一覧

送信器または受信器が“伝送モード”に設定されている場合は、コマンド (@S\*S) のみ有効です。

### 送信器、受信器共通

コマンド	機能	詳細ページ
@S*S	RS-232C 通信モード	17

## 4.3 コマンドの詳細

### 4.3.1 送信器、受信器共通

@S*S	RS-232C 通信モード	
機能	設定	
書式	@S*S, mode <input type="checkbox"/>	
返り値	@S*S, mode <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mode : RS-232C 通信モード設定 0 = 伝送モード ※初期値, 1 = 設定モード	
実行例	@S*S, 1 <input type="checkbox"/>	RS-232C 設定モードに設定。
	@S*S, 1 <input type="checkbox"/>	RS-232C 設定モードに変更。
	@S*S, 0 <input type="checkbox"/>	RS-232C 伝送モードに設定。
	@S*S, 0 <input type="checkbox"/>	RS-232C 伝送モードに変更。
備考		



■ 特定の受信器とのデータ通信について

特定の受信器とデータ通信を行うには、IDの設定が必要です。

送信器と受信器を“設定モード”にして、送信器の送信先IDと受信先ID、受信器の受信器IDを設定してください。

【参照：3 設定モード (P.7)】

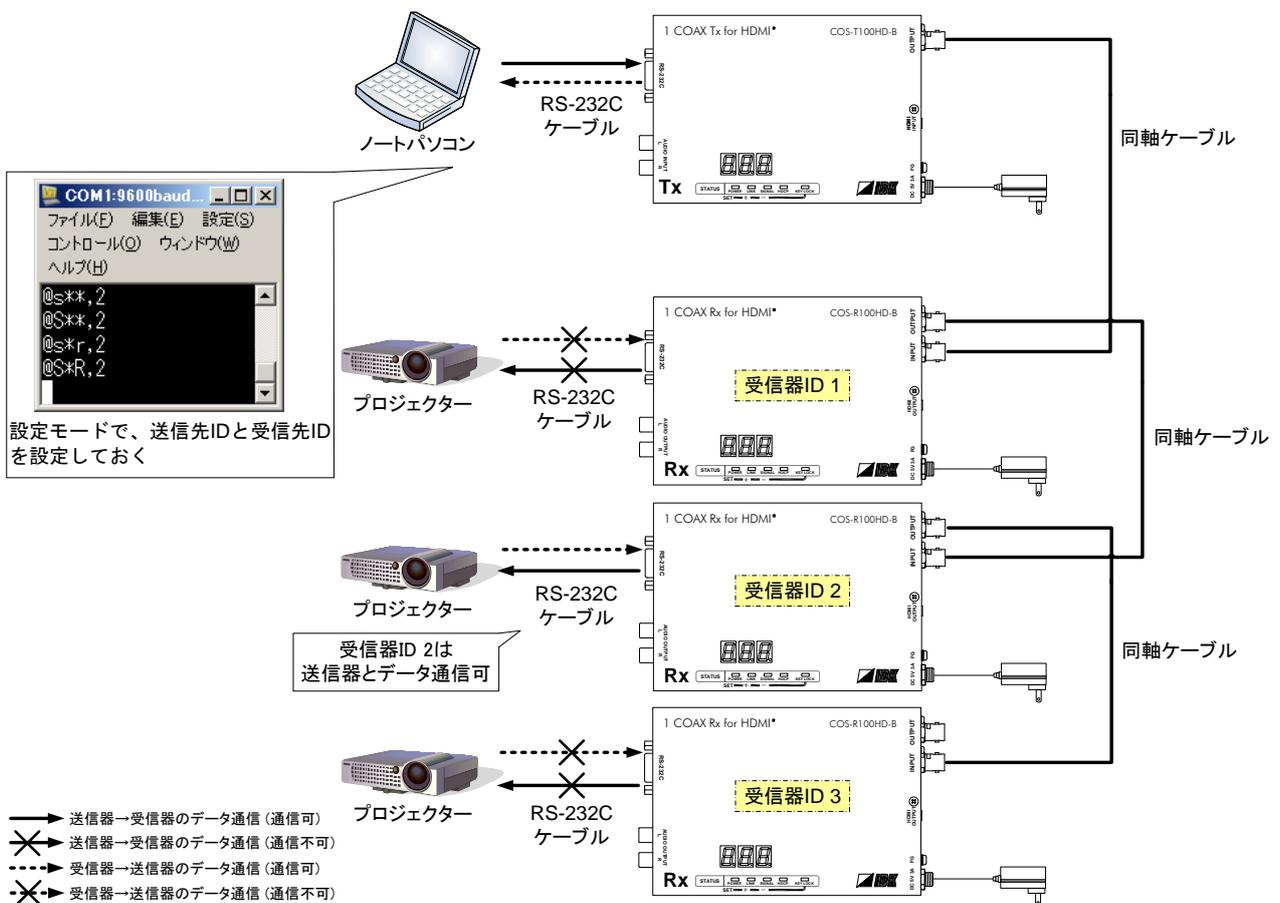
【参照：RS-232C 通信 送信先ID (P.13)】

【参照：RS-232C 通信 受信先ID (P.13)】

【参照：RS-232C 通信 受信器ID (P.14)】

図 4.3 に、送信器の送信先IDと受信先IDを“2”に、受信器の受信器IDを送信器に近い方から“1”、“2”、“3”に設定した場合の例を示します。

この場合、送信器と受信器ID“2”の受信器がデータ通信可能です。



● COS-R100HD-B (受信器)

設定モードで受信器IDを設定しておく



【図 4.3】 特定の受信器とのデータ通信

## ■ 設定手順 (特定の受信器とデータ通信する場合)

- 1 パソコンなどの制御機器と送信器、受信器とプロジェクターなどの外部機器を接続し、RS-232C ケーブルで接続する。

---

- 2 各機器の電源を入れる。

---

- 3 送信器、受信器の RS-232C 通信モードを“設定モード”にして、RS-232C 通信設定をする。  
RS-232C 通信設定は、3.1 設定手順 (P.7) を参照してください。

---

- 4 受信器に受信器 ID を設定する。<sup>※1</sup>  
“[C18] RS-232C 通信 受信器 ID 設定”を“01 ~ 15”に設定する。<sup>※2</sup>

---

- 5 送信器に、送信先 ID と受信先 ID を設定する。  
送信器と RS-232C 接続した制御機器から“@S\*\*”コマンドを使って、送信先 ID を設定する。  
送信器と RS-232C 接続した制御機器から“@S\*R”コマンドを使って、受信先 ID を設定する。

---

- 6 送信器、受信器の RS-232C 通信モードを“伝送モード”にする。<sup>※3</sup>  
“[F99] メンテナンス / 状態表示メニューの表示設定”の設定を“on (表示)”または“ALL (常時表示)”にし、メンテナンスメニューの操作ができるようにする。  
“[C13] RS-232C 通信モード設定”の設定を“00 (伝送モード)”にする。

---

- 7 必要に応じて、“[F99] メンテナンス / 状態表示メニューの表示設定”の設定を“oFF (非表示)”にする。

※1 パソコンなどの制御機器と、送信器または受信器の RS-232C 通信設定が正しく設定されている場合、コマンド (@S\*I) からでも受信器 ID の設定が可能です。

【参照：@S\*I / @G\*I (P.14)】

※2 特定の受信器と伝送を行う場合は、受信器 ID “0” は使用できません。すべての受信器の受信器 ID を“0”以外に設定してください。  
複数の受信器に同じ受信器 ID を設定した場合、送信器からのデータは、送信器の送信先 ID と一致するすべての受信器に対して伝送可能です。受信器からのデータは、送信器の受信先 ID と一致する受信器のうち、送信器に 1 番近い受信器からのみ伝送可能です。

※3 パソコンなどの制御機器と、送信器または受信器の RS-232C 通信設定が正しく設定されている場合、コマンド (@S\*S) からでも RS-232C 通信モードの設定が可能です。

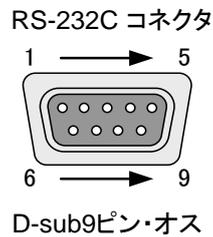
【参照：@S\*S (P.11)】

## 4.5 注意事項

- ・ 送信器と受信器は、お互いのボーレートが異なる場合でも通信ができるように、通信データを一度メモリ (4 K バイト) に保存してから出力しています。  
そのため、通信データを出力するときは、データのサイズを 4 K バイト以下にしてください。4 K バイトを超えるデータを 1 度に通信すると、正しくデータが送信できない場合があります。
- ・ 通信データが送信器に入力されてから、受信器を通過して外部機器へ出力されるまで、最大 100 ms の時間がかかります。受信器から送信器へのデータ伝送も同様に、最大 100 ms の時間がかかります。
- ・ デイジーチェーン接続を行った場合、送信器からのデータが各受信器を通過して外部機器へ出力されるまでのタイミングに時間差が生じます。受信器間での時間差は、最大 10 ms です。

## 5 RS-232C コネクタ仕様

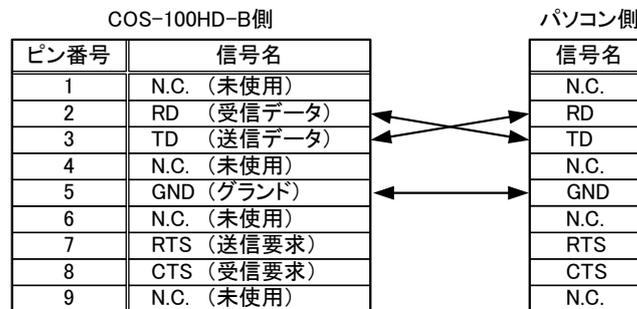
RS-232C コネクタのピン配列については下図のとおりです。



[図 5.1] RS-232C コネクタ仕様

### ■ パソコンとの接続

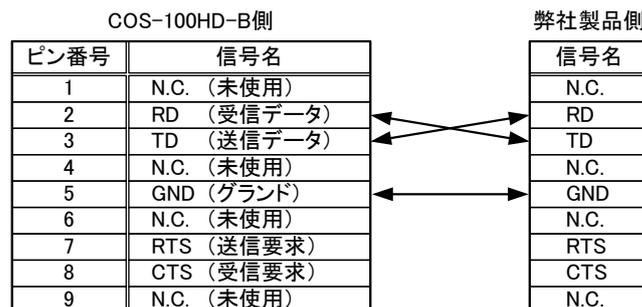
パソコンと接続する RS-232C ケーブルは、必ずクロスケーブルを使用してください。



[図 5.2] パソコンと接続時の RS-232C ケーブルピン配列

### ■ 弊社製品との接続

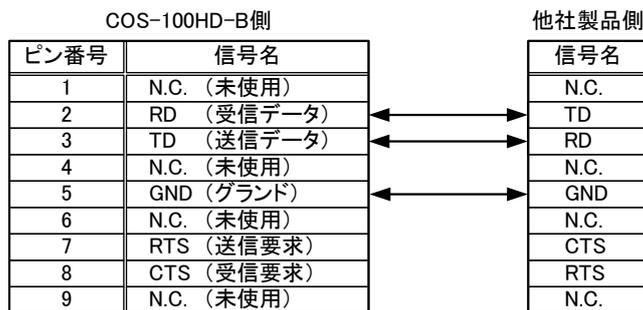
弊社製品と接続する RS-232C ケーブルは、必ずクロスケーブルを使用してください。



[図 5.3] 弊社製品と接続時の RS-232C ケーブルピン配列

■ ストレート結線を要求する機器との接続

ストレート結線を要求する機器と接続する RS-232C ケーブルは、必ずストレートケーブルを使用してください。



[図 5.4] ストレート結線を要求する機器と接続時の RS-232C ケーブルピン配列

※N.C. : No Connection

## 6 RS-232C 通信仕様

RS-232C 通信の設定範囲は以下のようになっています。

[表 6.1] RS-232C 通信仕様

準拠規格	RS-232C
ボーレート	4800 / 9600 / 19200 / 38400 [bps]
データビット長	7 / 8 ビット
パリティチェック	なし / 奇数 / 偶数
ストップビット	1 / 2 ビット
Xパラメータ	無効
フロー制御	なし
デリミタ	CR LF (復帰+改行, 16 進表記の 0D と 0A)
通信方式	全二重



COS-100HD-B 取扱説明書 <コマンドガイド>

Ver.1.0.0

発行日 2015年05月29日

---



**株式会社 アイ・ディ・ケイ**

**本 社** 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1  
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

**関西営業所** 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階  
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

**九州営業所** 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル3階  
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

**Eメールアドレス** info@idk.co.jp **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>